



各 位

2020年11月25日

会 社 名 日本電子材料株式会社
代 表 者 代表取締役社長 大久保 和正
(コード番号 6855 東証第一部)
問 合 せ 先 専務取締役 管理部門統括部長 足立 安孝
電 話 06(6482)2007

令和2年度近畿地方発明表彰 地域協会会長賞受賞のお知らせ

当社は、令和2年度近畿地方発明表彰 地域協会会長賞受賞を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

記

当社が保有する、受光素子の低温検査に用いられるプローブカードの結露を防止するための技術が、技術的に優秀且つ実施効果が高い特許であると評価され、11月19日に開催された令和2年度近畿地方発明表彰において地域協会会長賞を受賞しました。

地方発明表彰は、1921年に始まった公益社団法人発明協会が主催する顕彰であり、「その発明が地域産業へいかに貢献しているのか」という観点により、全国の優れた技術を8つに分けられた各地方で顕彰するものです。

当社は、半導体産業へ一層貢献できるように、今後も新たな技術開発を推進します。

<特許内容>

本特許の対象となった発明は、受光素子の低温検査用のプローブカードに関し、結露の防止によって検査の正確性を向上するための構造に関する技術です。

受光素子は、低温環境における良否を判定するために、低温環境下においてプローブカードを介して検査光を照射しながら電氣的に検査される場所、低温環境と外気との温度差によりプローブカードに生じる結露によって受光素子へ照射される検査光が遮られ、検査が正しく行われずという課題がありました。

本発明のプローブカードは、結露を防止するために、結露の原因となる気体を低温環境側から外気側へと排気するための排気孔を設けたものであり、結露による検査不良を防止する構造となっております。

当社は、2020年に日本において、この構造を第6654096号として特許取得しております。

以 上